



～地域包括ケア病棟から地域をデザインする～

発行元：地域包括ケア病棟“彩り”・リハビリ科・地域医療連携室

地域包括ケア病棟の在宅復帰率について

～ これまで、これからも ～

地域包括ケア病棟は平成26年度の診療報酬改正で新設されました。当院は、平成26年8月に開設しましたので、5年8ヶ月が経過しています。

地域包括ケア病棟は、国で定められたいろいろな基準があるのですが、基準の一つに在宅復帰率が70%（6ヶ月の平均）以上をクリアすること、とあります。まさに、在宅復帰を支援する病棟として役割を果たすための基準です。自宅や特別養護老人ホーム、有料老人ホームなどが在宅に該当します（老健や他病院は在宅に該当しません）。

当院の地域包括ケア病棟“彩り”の在宅復帰率は、多少の変動はあるのですが、約80%です。住み慣れた地域で住み続けられるようにと新設された地域包括ケア病棟ですので、もちろん、その役割を果たすべく病棟運営をしているのですが、この地域の特性（高齢化、過疎化など）を踏まえ、自宅に戻ることが難しい患者さんは、当院併設の老健やましろを中心に他施設の紹介も行っています。また、自宅に戻られる患者さんのうち、必要な患者さんには当院訪問看護部門と連携し、安心して地域で過ごして頂けるようお手伝いをしています。これまでも、これからも、地域を支える地域包括ケア病棟“彩り”、老健やましろ（入所、通所、ショートステイ）、訪問看護部門でありたいと思いますので、よろしくお願いします。（地域医療連携室 室長 南出 弦）

老健やましろより

～ 明るい気持ちになれる日が来ることを願っています ～



ユキワリイチゲ

私は、自宅のベランダでたくさんの植物を育てており、そのほとんどが多年草です。多年草は、1年を通して葉が出ているものもありますが、地上には葉も残さず、夏場や冬場など、その植物が不得意な時期を土の中で過ごすものも多くあります。

自宅のベランダも、冬場は緑が減り、枯れ木のような木や、全く葉の出ていない植木鉢が多くあります。それでも、毎日のように水をやり、年に2回ほど肥料を与えると、毎年、きれいな花を咲かせてくれます。

今年も春が近づき、美しい新芽が出てきたり、かわいらしい花が咲いたり、ベランダに出るのが楽しみな季節になりました。

いま、世界中が大変な時期を迎えています、一日も早くみんなが明るい気持ちになれる日が来ることを願っています。（老健やましろ 管理部長 三村 裕子）

医療的ケア児の退院支援について

～ 当院での取り組みの紹介 ～

医療技術の発展に伴い、医療的ケアを必要とする児童（医療的ケア児）が増えています。当院では、大学病院等から自宅に退院する際に、小児科病棟にて一旦受け入れを行い、地域の関係機関と連携を取らせて頂くことがあります。

先日も、長期間他の医療機関に入院し、人工呼吸器、吸引や胃ろうといった医療行為を必要とする児の受け入れを行いました。当院での対応件数はまだまだ多くなく、都度、院内多職種スタッフが話し合い、対応を協議しました。退院前には、在宅医はじめ関係機関を交えてカンファレンスを開催し、無事に自宅に退院することができました。

数ヶ月にわたる長期入院の間、母親は病室に付ききりで手技等の習得をされました。他の家族や兄弟とも過ごす時間が制限され、非常にストレスの高い入院生活であったことが容易に想像できます。

退院後、ご家族は「やはり、家はいいです。帰れて本当に良かった。」と話しておられました。通院の際、児は入院時よりふっくらとして、満面の笑みを見せてくれていました。こうした生活は、家族の協力ならびに在宅医療を支えて下さっている、地域の診療所の先生、訪問看護、訪問リハビリ、訪問入浴、訪問介護等の在宅支援サービスのうえに成り立っています。当院も、微力ながらその一助を担えていることを大変誇りに思います。（地域医療連携室 ソーシャルワーカー 濱松 佳子）

地域医療連携室より

～ New Morning ～

4月の人事異動で、地域医療推進部の中村真史副部長が事務部副部長兼医事課長となられたため、地域医療連携室を離れました。中村副部長は、平成26年8月、老健やましろから地域医療推進部に異動してこられましたので、5年8ヶ月の間、一緒に仕事をさせて頂いたこととなります。

中村副部長から学んだことは多いのですが、とにかくやってみるという姿勢が大切であることを特に学びました。私が提案すると、「ええやん、ええやん」と後押ししてくれました。時には、「こうした方がええんちゃう？」と助言をもらうこともあり、そういう考えもあるのだと気付かされることもありました。もちろん私の上司ではあるのですが、少々大袈裟ですが、ビートルズのジョンレノンとポールマッカートニー、又は、ローリングストーンズのミックジャガーとキースリチャーズのように、切磋琢磨しながら互いを高め合えるような関係であったのではないかと思います。

部署が変わっても互いが協力し、また、切磋琢磨しながらこの地域の地域包括ケアシステムを下支えできるよう尽力していきたいと思っています。引き続き、よろしくお祈いします。そして、人事異動で新たな部署に配属された皆さん、4月からこの地域へ赴任してこられた皆さん、どうぞよろしくお祈いします。（地域医療連携室 室長 南出 弦）

ゴールデンウィークの受け入れについて

地域包括ケア病棟“彩り”では、ゴールデンウィークなどの長期休暇の期間、患者様の受け入れを行っています。お気軽にお問い合わせ下さい。

0774-73-1818（担当：中野・中嶋・松田）